

ワクチン届かず…大混乱

役割発揮を求め、対県要請



流山市議会議員

小田桐たかし

今月9日、柏、野田、我孫子、流山の各市議団は連名でワクチンの安定供給を求め、千葉県へ要請行動を行いました。加藤英雄、三輪よしみ各県議が同席しました。渡部和子柏市議、星野幸治野田市議、乾紳一郎流山市議からは、「ワクチン配送が滞り、医療機関がキャンセルの電話を掛けたり、謝罪に大あらわとなつている」「流山市でも64才以下の接種予約を12日から一時停止するとの発表に、市民の怒りが沸騰している」

は拡大傾向が顕著で、「重点措置」予備軍といえる。重点措置地域をこれ以上増やさず、封じ込めていくためにも、ワクチンの安定供給、大規模検査の実施、県主催の大規模接種センターの継続など要請項目に対応していただきたい」と重ねて要請しました。

9日19時54分の千葉県発表では「重点措置」の延長とともに、流山市や野田市、我孫子市が「警戒」区域に。しかし、対策の拡充は、現時点で含まれていません。



要請書を手渡す党市議・県議団。右から三輪よしみ県議、星野幸治野田市議、加藤英雄県議、渡部和子柏市議、小田桐たかし、いぬい紳一郎各流山市議

と各市の現状が報告され、県の取り組み強化を求めました。県担当課は「全国知事会や一都三県知事連名で国へ要請している」「困っていることは共有している」としつつも、市町村から要請されている量の3分の1しか配荷できていない状況であることや、「まん延防止等重点措置地域」に柏市が再追加されても、感染を抑制する方策が飲食店での営業時短しかないことを認めました。

最後に、小田桐たかし流山市議は、「重点措置」の対象地域内で感染拡大を封じ込めていない。人口10万人に当たりの感染者数はまだ少ないという地域でも、この2か月で急拡大の傾向がみられ、「重点措置」除外の東葛地域

「接種予約がキャンセルされた」「希望しているワクチンが配送されない」。政府のワクチン供給の乱れや遅れ、無計画さの結果、医療現場や市町村に大混乱を引き起こしています。早速、千葉県へ要請してきます。